

Multi-Effects Processor

B3n

オペレーションマニュアル

このたびは、**ZOOM B3n**（以下**B3n**と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

B3nの機能を十分に理解し、未永くご愛用いただくためにも、このマニュアルをよくお読みくださるようお願い致します。

なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

目次

安全上の注意／使用上の注意……………	2	チューナーを使用する……………	28
はじめに……………	3	リズムを使用する……………	34
用語について……………	3	ルーパーを使用する……………	36
各部の名称……………	4	ペダルを使用する……………	41
電源を入れる……………	6	タップテンポ機能を使用する……………	42
ディスプレイ情報……………	7	初期化する……………	43
エフェクトを調節する……………	8	ファームウェアをアップデートする……………	44
パッチを使用する……………	16	故障かな？と思う前に……………	46
マスターレベルを調節する……………	22	リズムパターン……………	46
各種設定を変更する……………	23	仕様……………	47

安全上の注意／使用上の注意

安全上の注意

このオペレーションマニュアルでは、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味は次のとおりです。

	「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

図記号の例

	「実行しなければならない(強制)内容」です。
	「してはいけない(禁止)内容」です。



警告

ACアダプターによる駆動

- ❶ ACアダプターは、必ずZOOM AD-16を使用する。
- ❷ コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしない。

改造について

- ❶ ケースの開封や改造を加えない。



注意

製品の取り扱いについて

- ❶ 落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えない。
- ❷ 異物や液体を入れないように注意する。

使用環境について

- ❶ 温度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- ❷ 暖房機やコンロなど熱源の近くでは使わない。
- ❸ 湿度が極端に高いところや水滴のかかるところでは使わない。
- ❹ 振動の多いところでは使わない。
- ❺ 砂やほこりの多いところでは使わない。

ACアダプターの取り扱いについて

- ❶ 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ❷ 長期間使用しないときや雷が鳴っているときは、電源プラグをコンセントから抜く。

接続ケーブルと入出力ジャックについて

- ❶ ケーブルを接続するときは、各機器の電源スイッチを必ずオフにしてから接続する。
- ❷ 移動するときは、必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから移動する。

音量について

- ❶ 大音量で長時間使用しない。

使用上の注意

他の電気機器への影響について

B3n は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周囲に設置すると影響が出る場合があります。そのような場合は、**B3n** と影響する機器と十分に距離を置いて設置してください。デジタル制御の電子機器では、**B3n** も含めて、電波障害による誤動作やデータの破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。注意してください。

お手入れについて

パネルが汚れたときは、柔らかい布で乾拭きしてください。それでも汚れが落ちない場合は、湿らせた布をよくしぼって拭いてください。クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐに電源を切り、ACアダプターを抜いて他の接続ケーブル類もはずしてください。「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまで連絡してください。



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

はじめに

進化したユーザーインターフェース

Gシリーズで培ったストップボックス感覚のユーザーインターフェースを更に進化させました。3つのディスプレイを駆使して、エフェクトパラメーターやエフェクトチェーンを簡単に確認できます。

アンプ／キャビネットの特性を綿密にエミュレート

実際の回路動作からベースアンプの特性を綿密にエミュレート。インパルス応答を使ったキャビネットと組み合わせることで、スタジオ・クオリティのレコーディングサウンドを得ることができます。

追加される多彩なエフェクト

B3nは専用PCアプリケーションを使ってエフェクトを追加することが可能です。追加のエフェクトはZOOMより配信していきます。詳しい情報はZOOMのWEBサイト(<http://www.zoom.co.jp/>)を確認してください。

用語について

パッチ

エフェクトのON/OFFやパラメーターの設定値を記憶したものを“パッチ”と呼びます。エフェクトの呼び出しや保存はパッチ単位で行います。**B3n**は150パッチまで保存できます。

バンク

3つのパッチをひとまとめにしたものを“バンク”と呼びます。

ユニット

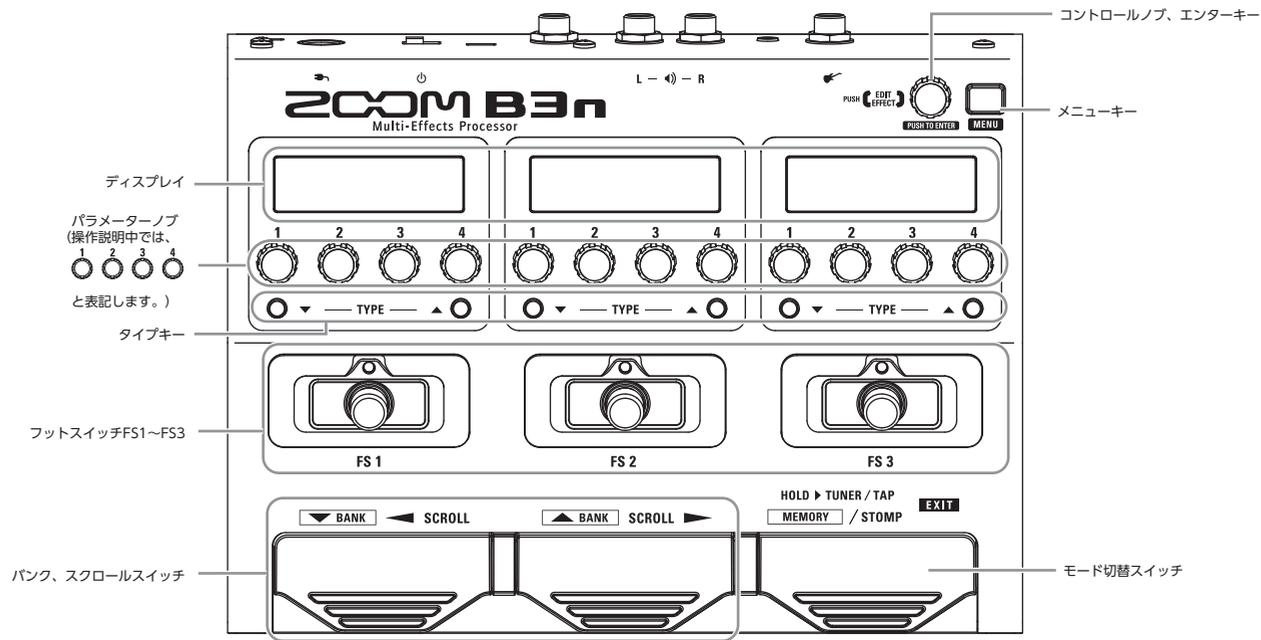
1組のディスプレイとパラメーターノブ4つ、フットスイッチをまとめて“ユニット”と呼びます。

ラージエフェクト

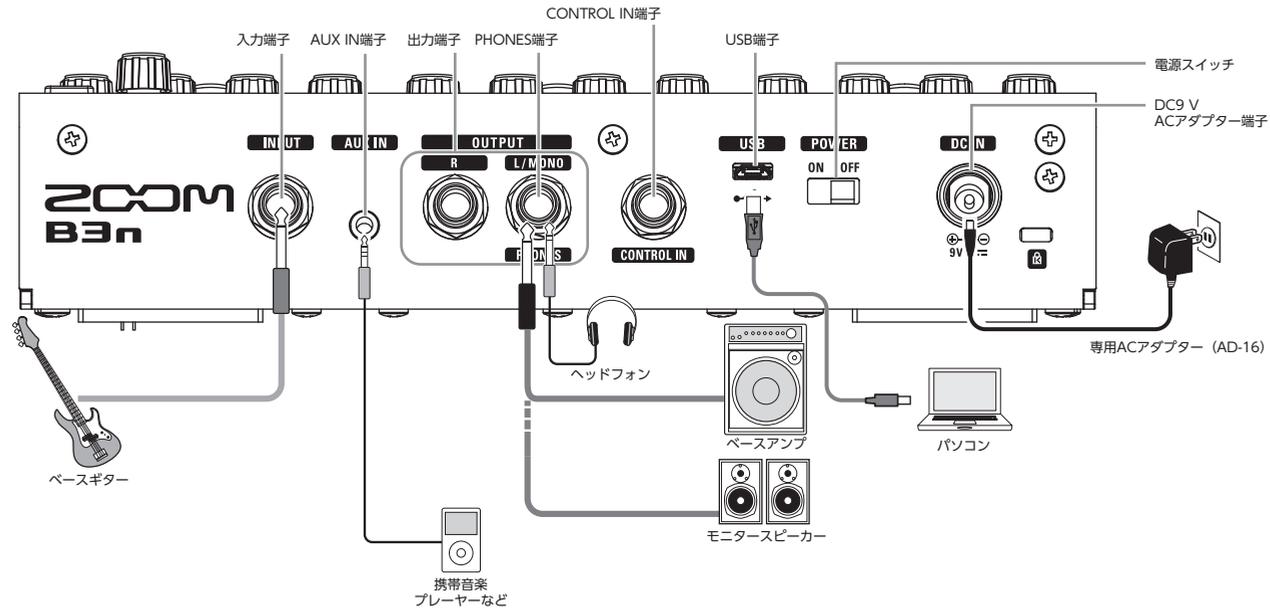
複数のユニットを使用するエフェクトを“ラージエフェクト”と呼びます。

※ **B3n**のエフェクトパラメーターリストは、製品には付属していませんので、ダウンロードしてご利用ください。→ <http://www.zoom.co.jp/>

フロントパネル



リアパネル



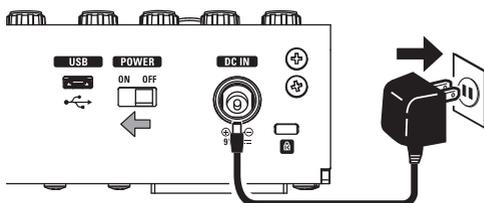
電源を入れる

電源を入れるには

- アンプの音量を最小にする。



- ACアダプターを接続してから、電源スイッチを“ON”にする。



- アンプの電源を入れ、音量を上げる。

HINT

B3n は前回電源スイッチを切ったときのモードで立ち上がります。

eco 設定について

ecoモードをONに設定している場合、操作が行われないまま10時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

ディスプレイ情報

STOMPモード時のディスプレイ

STOMPモードでは、エフェクトのON/OFFやエフェクトタイプの変更ができます。
スタンダードエフェクト



ラージエフェクト



ディスプレイの表示切り替えについて

PUSH (EDIT EFFECT) を押すたびに、パラメーター表示とエフェクト名表示を切り替えることができます。



MEMORYモード時のディスプレイ

MEMORYモードでは、パッチ・バンクの切り替えができます。



パッチで使用しているエフェクトの表示について

を押すと、パッチで使用しているエフェクトを表示できます。

エフェクトを表示した状態で を回すと、エフェクトの表示をスクロールできます。



もう一度 を押すと、元の画面に戻ります。

エフェクトを調節する

MEMORY / STOMP



を押してSTOMPモードに切り替える。

エフェクトのON/OFFを切り替えるには

-  を押す。
▼
- エフェクトのON/OFFが切り替わる。



NOTE

ラージエフェクトには  にSOLO効果などの特殊機能が割り当てられているエフェクトタイプがあります。  に関する機能を示すパラメータは、ディスプレイ上に白黒反転表示されます。



エフェクトタイプを選択するには

-  ▼ TYPE ▲  を押す。
▼
- エフェクトタイプが変更される。



NOTE

B3nでは7つのエフェクトを自由に組み合わせることができますが、処理能力の限界を超えた場合や、使用するユニット数の限界を超えた場合は、“PROCESS OVERFLOW”と表示され、エフェクトがバイパス状態になります。いずれかのエフェクトタイプを変更するか削除すると、バイパス状態を解除できます。



エフェクトカテゴリを選択するには

- TYPE ▲○ を押しながら TYPE ▼○ を押す。



- カテゴリ名が表示され、カテゴリの先頭にあるエフェクトタイプに変更される。



HINT

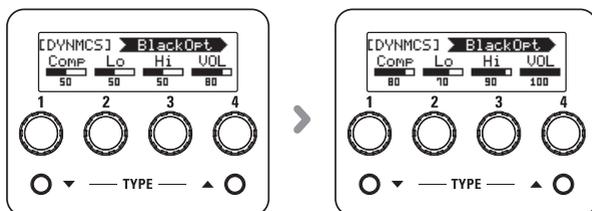
TYPE ▼○ を押しながらTYPE ▲○ を押すと、エフェクトカテゴリが逆方向で切り替わります。



エフェクトを調節する

エフェクトのパラメーターを調節するには

- 1 2 3 4 を回す。



HINT

- 調節したパラメーターは自動的に保存されます。
- オートセーブを「OFF」に設定している場合は、パッチを切り替えようとする時、パラメーターを保存する画面が表示されます。(→P19)

NOTE

TimeやRateなどのエフェクトパラメーターで音符マークを選択すると、テンポに同期させることができません。(→P42)

エフェクトの表示をスクロールするには

- 、 を押して、スクロール画面を表示する。



- 、 を押す。



- ・ 押すたびにエフェクトの表示がスクロールされる。



MEMORY / STOMP

- ・  を押す。

エフェクトを追加するには

- ・  を押して、MENU画面を表示する。



- ・  を回して、[ADD]を選択する。

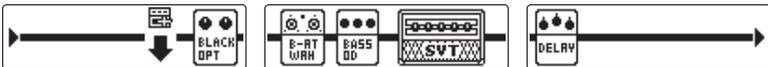


NOTE

すでにエフェクトが7個使用されている場合、[ADD]は表示されません。



- ・  を押して、ADD画面を表示する。



エフェクトを調節する

-  を回して、挿入先を選択する。
PUSH TO ENTER



-  を押して、挿入先を確定する。
PUSH TO ENTER



- ディスプレイにケーブルが追加される。



-  **TYPE**  を押して、エフェクトタイプを選択する。



エフェクトを削除するには

-  を押して、MENU画面を表示する。



-  を回して、[DELETE]を選択する。



-  を押して、DELETE画面を表示する。



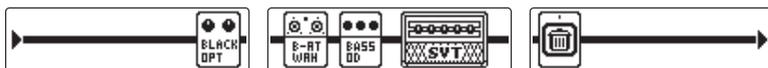
-  を回して、削除するエフェクトを選択する。



-  を押す。



-  を押して、エフェクトを削除する。



HINT

キャンセルする場合は、 を回します。



エフェクトを調節する

-  を押す。

エフェクトを並べ替えるには

-  を押して、MENU画面を表示する。



-  を回して、[CHAIN]を選択する。



-  を押して、CHAIN画面を表示する。



-  を回して、並べ替えるエフェクトを選択する。



-  を押して、並べ替えるエフェクトを確定する。



-  を回して、隣のエフェクトと入れ替える。
PUSH TO ENTER



-  を押す。
MENU

パッチを使用する

MEMORY / STOMP



を押して、MEMORYモードに切り替える。

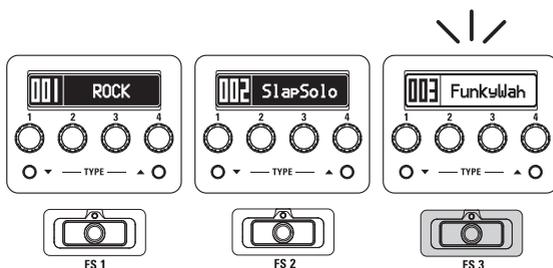
パッチを選択するには

■ パッチを変更する

- 、、 を押す。



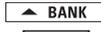
- パッチが変更される。



NOTE

選択されているパッチは、背景が白で表示されます。

■ バンクを変更する

- 、 を押す。



- バンクが変更される。



NOTE

- 、 を長押しすると、バンクを連続して変更できます。
- 離れた番号のバンクに変更するためのプリセレクト機能については、P24を参照してください。

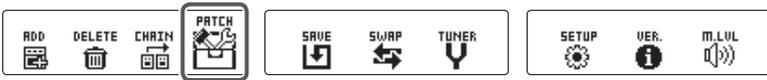
パッチ固有のパラメーターを設定するには

■ パッチ設定モードにする

-  を押して、MENU画面を表示する。



-  を回して、[PATCH]を選択する。



-  を押して、PATCH SETTINGS画面を表示する。



■ パッチレベルを調節する

-  を回して、[LEVEL]を選択する。



-  を押す。



-  を回して、パッチレベルを調節する。



パッチを使用する

NOTE

設定範囲は0～120です。



-  を押して、パッチレベルを確定する。



■ パッチ名を変更する

-  を回して、変更する文字を選択する。



-  を押して、変更する文字を確定する。



-  を回して、文字を変更する。



-  を押して、変更した文字を確定する。



NOTE

- 使用可能な文字／記号は次の通りです。
! # \$ % & ^ ' () + , - . : ; = @ [\ ^ _ ` { } ~ (space) A-Z, a-z, 0-9

-  を長押しすると、文字種を変更できます。

■ パッチ設定モードを終了する

-  を押す。

パッチを保存するには

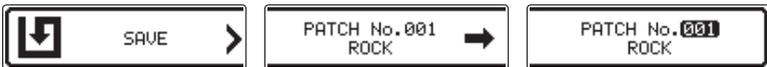
-  を押して、MENU画面を表示する。



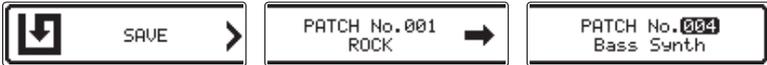
-  を回して、[SAVE]を選択する。



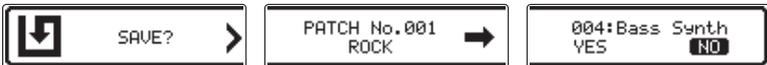
-  を押して、SAVE画面を表示する。



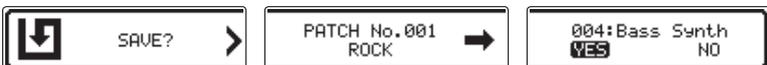
-  を回して、保存先のパッチを選択する。



-  を押して、保存先を確定する。



-  を回して、[YES]を選択する。

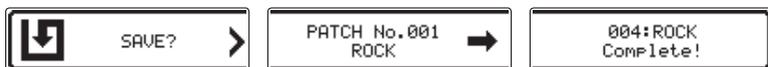


パッチを使用する

HINT

保存しない場合は、[NO]を選択します。

- ▼
-  を押して、パッチを保存する。



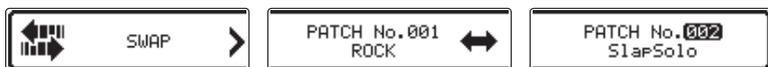
パッチを入れ替えるには

-  を押して、MENU画面を表示する。

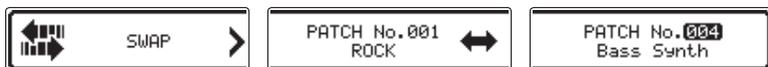
- ▼
-  を回して、[SWAP]を選択する。



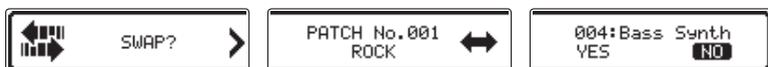
- ▼
-  を押して、SWAP画面を表示する。



- ▼
-  を回して、入れ替え先のパッチを選択する。



- ▼
-  を押して、入れ替え先のパッチを確定する。



-  を回して、[YES]を選択する。

PUSH TO ENTER



HINT

入れ替えない場合は、[NO]を選択します。



-  を押して、パッチを入れ替える。

PUSH TO ENTER



マスターレベルを調節する

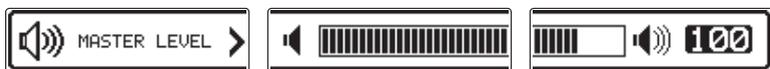
-  を押して、MENU画面を表示する。



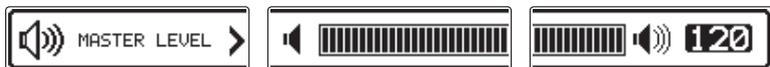
-  を回して、[M.LVL] を選択する。



-  を押して、MASTER LEVEL 画面を表示する。



-  を回して、マスターレベルを調整する。



NOTE

設定範囲は0～120です。

HINT

STOMP モードまたはMEMORY モードで  を回しても、マスターレベルを調節できます。

PUSH TO ENTER

各種設定を変更する

各種設定はSETUP画面から行います。

SETUP画面を表示するには

-  を押して、MENU画面を表示する。



-  を回して、[SETUP]を選択する。



-  を押して、SETUP画面を表示する。



各種設定を変更する

プリセレクト機能を設定するには

バンクを切り替えたときにスタンバイ状態とし、フットスイッチを押せばパッチの変更が確定するように設定します。

- SETUP画面で  を回して、[PRESELECT]を選択する。



-  を押す。



-  を回して、プリセレクトのON/OFFを切り替える。



-  を押して、プリセレクトの設定を確定する。



ecoモードを設定するには

操作が行われないまま10時間が経過すると、自動的に電源が切れるように設定します。

- SETUP画面で  を回して、[eco]を選択する。



-  を押す。



-  を回して、ecoモードのON/OFFを切り替える。



-  を押して、ecoモードの設定を確定する。



各種設定を変更する

オートセーブ機能を設定するには

パラメーターが自動的に保存されるように設定します。

- SETUP画面で  を回して、[AUTO SAVE]を選択する。



-  を押す。



-  を回して、オートセーブのON/OFFを切り替える。



NOTE

[OFF]に設定すると、各パッチのパラメーター、各エフェクトのパラメーターは自動的に保存されません。



-  を押して、オートセーブの設定を確定する。



パッチの切り替えについて

オートセーブを「OFF」に設定しているときに、パラメーターを変更してからパッチを切り替えようとすると、パラメーターを保存する画面が表示されます。

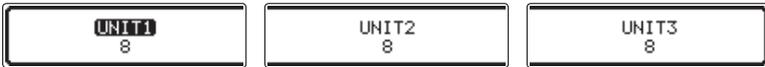
変更したパラメーターを保存してからパッチを切り替える場合は、[YES]を選択します。(→P19)
変更したパラメーターを保存せずにパッチを切り替える場合は、[NO]を選択します。

ディスプレイのコントラストを調節するには

- SETUP画面で  を回して、[LCD CNTRST]を選択する。



- ▼
-  を押す。



- ▼
-  を回して、コントラストを調節するディスプレイを選択する。



- ▼
-  を押して、ディスプレイを確定する。



- ▼
-  を回して、コントラストを調節する。



NOTE

設定範囲は1～13です。

- ▼
-  を押して、コントラストを確定する。



チューナーを使用する

チューナーを有効にするには

- STOMPモードまたはMEMORYモードで  を長押しする。



-  または  を押す。



TUNER動作時に、BYPASS音を出力します。



TUNER動作時に、音を出力しません。



- チューナー画面が表示される。



ベースをチューニングするには

- チューニングしたい弦を開放で弾き、ピッチを調整する。

CHROMATICチューナー

最寄りの音名とピッチのズレが表示されます。



その他のチューナー

最寄りの弦番号とピッチのズレが表示されます。



チューナーを終了するには

- TUNER画面で  を押す。

チューナーの設定を変更するには

■ TUNER SETTINGS画面を表示する

-  を押して、MENU画面を表示する。



-  を回して、[TUNER]を選択する。



-  を押して、TUNER SETTINGS画面を表示する。



■ チューナーの基準ピッチを変更する

- TUNER SETTINGS画面で  を回して、[CALIBRATION]を選択する。



-  を押す。



-  を回して、基準ピッチを変更する。



NOTE

設定範囲は中央A=435 ~ 445Hzです。



-  を押して、チューナーの基準ピッチを確定する。



HINT

チューナー画面で中央のユニットの  を回しても、基準ピッチを変更することができます。

チューナーを使用する

■ チューナーのタイプを変更する

- TUNER SETTINGS画面で  を回して、[TYPE]を選択する。



-  を押す。



-  を回して、チューナーのタイプを選択する。



CHROMATIC

最寄りの音名(半音単位)と、その音名からどの程度ずれているかを表示します。

チューナータイプ

表示	解説	弦番号/音名					
		LB	4	3	2	1	HC
BASS	5弦、6弦ベースにも対応するベースギターの標準チューニング	B	E	A	D	G	C

HINT

"LB"はLow B、"HC"はHigh Cを表します。



-  を押して、チューナーのタイプを確定する。



■ フラットチューニングを使用する

- TUNER SETTINGS画面で  を回して、[FLAT]を選択する。



-  を押す。



-  を回して、フラットチューニングを変更する。



NOTE

- 半音 (b×1)、1音 (b×2)、1音半 (b×3) 下げてチューニングできます。
- チューナーのタイプが“CHROMATIC”のときは、フラットチューニングはできません。



-  を押して、フラットチューニングの設定を確定する。



リズムを使用する

リズムを選択するには

-  を押してSTOMPモードに切り替える。
▼
-  ▼ **TYPE** ▲  を押して、任意のユニットでリズムを選択する。



NOTE

1つのパッチで選択できるリズムは1つです。

リズムを再生するには

- リズムを使用しているユニットの  を押す。
▼
- リズムが再生される。



HINT

- リズムの再生中に、STOMPモード／MEMORYモードを切り替えることができます。
- リズムの再生中にパッチを変更すると、リズムが停止します。

リズムを停止するには

- リズム再生中に、リズムを使用しているユニットの  を押す。
▼
- リズムが停止する。



リズムを設定するには

■ リズムパターンを選択する

- リズムを使用しているユニットの  を回す。



NOTE

パターンの種類はP46を参照してください。

■ リズムのテンポを調節する

- リズムを使用しているユニットの  を回す。



NOTE

- 設定範囲は40～250です。
- ここで設定したテンポは各エフェクト、ルーパーで共有されます。

■ リズムの音量を調節する

- リズムを使用しているユニットの  を回す。



NOTE

設定範囲は0～100です。

ルーパーを使用する

ルーパーを選択するには

-  を押してSTOMPモードに切り替える。
- ▼
-  を押して、任意のユニットでルーパーを選択する。

1 ユニット



2 ユニット



NOTE

- ルーパーにはモノラルルーパー（1 ユニット）、モノラルルーパー（2 ユニット）、ステレオルーパー（1 ユニット）、ステレオルーパー（2 ユニット）の4 種類があります。
- 1 つのパッチで選択できるルーパーは1 つです。

フレーズを録音・再生・削除するには

■ フレーズを録音する

- ルーパーを使用しているユニットの先頭の  を押す。
- ▼
- 録音が始まる。



- ・ 録音を停止して、ループ再生を開始する。

録音時間が“MANUAL”に設定されている場合



を再び押すか、最大録音時間に達すると、録音を停止してループ再生が開始される。

録音時間が音符マークに設定されている場合

設定した録音時間が経過すると録音を停止してループ再生が開始される。



HINT

- ・ ルーパーの録音時間の設定方法はP39を参照してください。
- ・ フレーズの録音・再生中はMEMORYモードに切り替えても録音・再生したままとなります。

NOTE

- ・ リズム再生中は、プリカウント後に録音が始まります。
- ・ フレーズの録音・再生中にパッチを変更すると、録音・再生が停止し、録音データが消去されます。
- ・ リズム再生中はクオンタイズが有効になり、録音終了のタイミングが多少ずれても、自動的に補正され正確なタイミングでループ再生されます。
- ・ ループ再生中にリズムのテンポを変更すると、録音したフレーズは削除されます。

■ 録音したフレーズにオーバーダビングする

- ・ ループ再生中にルーパーを使用しているユニットの先頭の  を押す。



■ ループ再生を停止する

1 ユニットルーパーの場合

- ・ ループ再生中にルーパーを使用しているユニットの  を2回押す。



- ・ ループ再生が停止される。



ルーパーを使用する

2 ユニットルーパーの場合

- ループ再生中にルーパーを使用しているユニットの2 つめの  を押す。



- ループ再生が停止される。



■ フレーズを消去する

1 ユニットルーパーの場合

- ループ再生の停止中に、ルーパーを使用しているユニットの  を長押しする。



- フレーズが消去される。



2 ユニットルーパーの場合

- ループ再生の停止中に、ルーパーを使用しているユニットの2 つめの  を長押しする。



- フレーズが消去される。



ルーパーを設定するには

■ ルーパーの録音時間を設定する

- ルーパーを使用しているユニットの  を回す。



NOTE

- 設定範囲はMANUAL、四分音符×1～四分音符×64です。
- モノラルルーパーの録音時間は1.5秒から80秒(UNDOがONの場合は40秒)です。
- ステレオルーパーの録音時間は1.5秒から40秒(UNDOがONの場合は20秒)です。
- 録音範囲に取まらない設定の場合、自動的に調節されます。
- 録音時間を変更すると録音データは消去されます。

■ UNDO機能を設定する

- ルーパーを使用しているユニットの  を回して、ON/OFFを切り替える。



NOTE

- UNDOをONにした場合、録音時間は以下になります。
- モノラルルーパー:40秒
 - ステレオルーパー:20秒

UNDO、REDO の操作方法について

UNDO を有効にすると、最後に行ったオーバーダビングを取り消すこと(UNDO)ができます。UNDO で取り消したフレーズを復活させること(REDO)もできます。

1 ユニットルーパーの場合

オーバーダビングを取り消すには、再生中に  を1秒間押します。取り消したフレーズを復活するには、もう一度  を1秒間押します。

2 ユニットルーパーの場合

オーバーダビングを取り消すには、再生中に先頭のユニットの  を2回押します。取り消したフレーズを復活するには、もう一度  を2回押します。

ルーパーを使用する

■ ループ再生の停止方法を設定する

- ルーパーを使用しているユニットの  を回す。



STOP

再生をすぐに停止します。

FINISH

最後まで再生した後に停止します。

FADE OUT

フェードアウトした後に停止します。

■ ルーパーの音量を調節する

- ルーパーを使用しているユニットの  を回す。



NOTE

設定範囲は0～100です。

ペダルを使用する

外部ペダルを使用するには

■ 外部ペダルを設定する

ペダルエフェクトが外部ペダルに割り当てられるように設定します。

-  を押して、MENU画面を表示する。



-  を回して、[EX PDL]を選択する。



-  を押して、EXT PEDAL画面を表示する。



-  を回して、外部ペダルのON/OFFを切り替える。



HINT

EXT PEDALをONにすると、ペダルエフェクトを使用できるようになります。

タップテンポ機能を使用する

ルーパー、リズム、ディレイや一部のモジュレーションでは、テンポを同期することができます。

同期させるには、あらかじめ同期が可能なエフェクトを選択し、同期に対応したパラメーター（“Time”や“Rate”など）を音符マーク（“♪”や“♪”）に設定しておいてください。

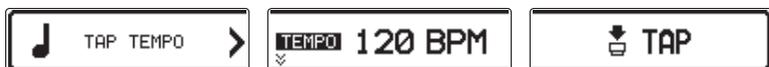


タップテンポを有効にするには

- STOMP モードまたはMEMORY モードで  を長押しする。

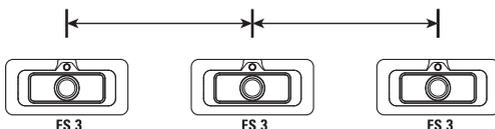


-  を押して、タップ画面を表示する。

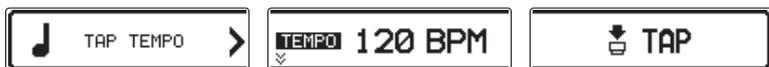


タップテンポを設定するには

- 設定したいテンポで  を2回以上押す。



- テンポが設定される。



HINT

中央のユニットの  を回してもテンポを調整することができます。

タップテンポを終了するには

- ・ タップ画面で  を押す。

初期化する

- ・  を押しながら、電源スイッチを“ON”にする。



- ・  を回して、[YES]を選択する。



HINT

初期化しない場合は、[NO]を選択します。



- ・  を押して、初期化する。



- ・ 初期化が完了すると、画面に“Complete!”と表示される。



HINT

初期化を実行すると、パッチを含むすべての設定が工場出荷時の設定に置き換えられます。この操作は慎重に行ってください。

ファームウェアをアップデートする

ファームウェアのバージョンを確認するには

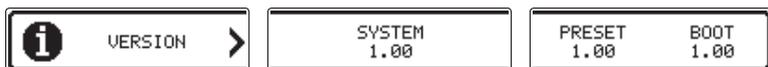
-  を押して、MENU画面を表示する。



-  を回して、[VER.]を選択する。



-  を押して、バージョン情報を確認する。

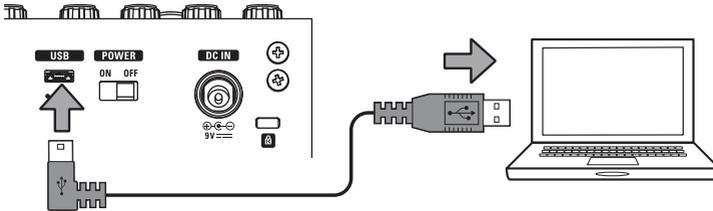


アップデートするには

■ 最新のファームウェアをダウンロードするには

ZOOMのWEBサイト (<http://www.zoom.co.jp/>) を確認してください。

- USBケーブルを使って、本機をパソコンに接続する。



- ▼
 - 、 を同時に押しながら、電源スイッチを“ON”にする。

- ▼
 - パソコンでファームウェアアップデートアプリケーションを起動し、アップデートを実行する。

FIRMWARE UPDATE
Ready for
firmware update!



FIRMWARE UPDATE
Now Writing...
Keep Connect To PC

NOTE

アップデート中はUSBケーブルを抜かないでください。

HINT

アプリケーションの操作については、ZOOMのWEBサイトを参照してください。

- ▼
 - アップデートが完了すると、画面に“Complete!”と表示される。

FIRMWARE UPDATE
Complete!
Please Restart

- ▼
 - 電源スイッチを“OFF”にする。

HINT

ファームウェアのアップデートにより、保存済みのパッチが消去されることはありません。

故障かな？と思う前に

音が出ない、非常に小さい

- ・電源スイッチが“ON”になっていることを確認する。
- ・接続を確認する。(→ P4 ~ 5)
- ・パッチレベルを調節する。(→ P17)
- ・マスターレベルを調節する。(→ P22)
- ・エクスプレッションペダルで音量の調節を行っている場合は、適切な音量になるようにペダルの位置を調節する。

ノイズが多い

- ・シールドケーブルが正常であることを確認する。
- ・ZOOM純正のACアダプターを使用する。

エフェクトがかからない

- ・エフェクトの処理量、ユニット数、リソース数が制限を超えている場合、エフェクトはバイパス状態になり、以下のようなメッセージが表示される。(→ P9)
PROCESS OVERFLOW

エクスプレッションペダルがうまく動作しない

- ・外部ペダルの設定を確認する。(→ P41)

リズムパターン

No.	PatternName	TimSig
1	GUIDE	4/4
2	8Beats1	4/4
3	8Beats2	4/4
4	8Beats3	4/4
5	16Beats1	4/4
6	16Beats2	4/4
7	16Beats3	4/4
8	Rock1	4/4
9	Rock2	4/4
10	Rock3	4/4
11	ROCKABLY	4/4
12	R'n'R	4/4
13	HardRock	4/4
14	HeavyMtl	4/4
15	MtlCore	4/4
16	Punk	4/4
17	FastPunk	4/4
18	Emo	4/4
19	TomTomBt	4/4
20	Funk1	4/4
21	Funk2	4/4
22	FunkRock	4/4
23	JazzFunk	4/4

No.	PatternName	TimSig
24	R&B1	4/4
25	R&B2	4/4
26	70s Soul	4/4
27	90s Soul	4/4
28	Motown	4/4
29	HipHop	4/4
30	Disco	4/4
31	Pop	4/4
32	PopRock	4/4
33	IndiePop	4/4
34	EuroPop	4/4
35	NewWave	4/4
36	OneDrop	4/4
37	Steppers	4/4
38	Rockers	4/4
39	Ska	4/4
40	2nd Line	4/4
41	Country	4/4
42	Shuffle1	4/4
43	Shuffle2	4/4
44	Blues1	4/4
45	Blues2	4/4
46	Jazz1	4/4

No.	PatternName	TimSig
47	Jazz2	4/4
48	Fusion	4/4
49	Swing1	4/4
50	Swing2	4/4
51	Bossa1	4/4
52	Bossa2	4/4
53	Samba1	4/4
54	Samba2	4/4
55	Breaks1	4/4
56	Breaks2	4/4
57	Breaks3	4/4
58	12/8 Grv	12/8
59	Waltz	3/4
60	JzWaltz1	3/4
61	JzWaltz2	3/4
62	CtWaltz1	3/4
63	CtWaltz2	3/4
64	5/4 Grv	5/4
65	Metro3	3/4
66	Metro4	4/4
67	Metro5	5/4
68	Metro	

仕 様

エフェクトタイプ	80タイプ
同時使用エフェクト	7
パッチユーザーエリア	150パッチ
サンプリング周波数	44.1 kHz
A/D変換	24-bit 128倍オーバーサンプリング
D/A変換	24-bit 128倍オーバーサンプリング
信号処理	32-bit
周波数特性	20 Hz ~ 20 kHz +1 dB -3 dB (10 k Ω 負荷時)
ディスプレイ	ドットマトリクスLCD (128*32 dot) x 3
入力 INPUT	標準モノラルフォンジャック 定格入力レベル: -20 dBu 入力インピーダンス(ライン): 470 k Ω
AUX IN	ステレオミニジャック 定格入力レベル: -10 dBu 入力インピーダンス(ライン): 10 k Ω
出力 R	標準モノラルフォンジャック 最大出力レベル: +5 dBm (出力負荷インピーダンス10 k Ω 以上時)
L/MONO/PHONES	標準ステレオフォンジャック(ライン/ヘッドフォン兼用) 最大出力レベル: ライン +5 dBm (出力負荷インピーダンス10 k Ω 以上時) ヘッドフォン 15 mW+15 mW (32 Ω 負荷時)
入力換算ノイズ	119 dBu
ノイズフロアー (残留ノイズ)	-100 dBu
コントロール入力	FP02 入力
電源	ACアダプター DC9 V センターマイナス、500 mA (ZOOM AD-16)
外形寸法	B3n 181 mm(D) X 234 mm(W) X 58 mm(H)
USB	USB MIDI USB Micro-B
重量	B3n 1.28 kg
オプション	エクスプレッションペダルFP02

※0 dBm=0.775 Vrms



株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3

ホームページ <http://www.zoom.co.jp>